

No. 8-5

事務事業評価シート1-1

は、プルダウンメニューから選択

事務事業No. 08 - 5

事業分類		<input checked="" type="checkbox"/> ソフト <input type="checkbox"/> ハード <input type="checkbox"/> 必需		公的関与		2		作成日		26年 6月 16日		
事務事業名		医療給付事業						シート作成部署				
総合計画上の位置付け	基本施策	2 人にやさしいまち						課名	健康保険課		係名	保険年金係
		2-3 安心して子育てのできるまちをつくる							シート作成者			
	施策	2-3-1 子育て支援の充実						予算費目	会計		一般	
									款		3	
主要施策	④ 相談・援助体制の充実						項		1			
							目		5			
個別計画名												
住民との関わり		特になし										
事業の対象・目的・内容	対象（誰を、何を）				目的（どういう状態にしたいのか）							
	本町区域内に住所を有する満15歳に到達後最初の3月31日までの子ども				対象者の保健の向上に寄与し、もって福祉の増進を図ることを目的とする。							
	事業内容（どのような方法で、何を行うのか）											
対象者に係る医療費のうち、保険診療の一部負担金相当額を助成する。 また、対象者のうち、小学6年生修了までの子どもについては、三重県福祉医療費助成制度の補助対象に該当している。												
事業期間		昭和 <input type="checkbox"/> 平成 <input type="checkbox"/> 年度		～		平成 年度		(年間)		<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし		
根拠法令・要綱等		東員町福祉医療費の助成に関する条例 東員町福祉医療費の助成に関する条例施行規則										
		平成24年度（決算）			平成25年度（決算）			平成26年度（予算）				
全体事業費（千円）A+B		179,701			193,715			199,177				
財源内訳	国庫支出金		0			0			0			
	県支出金		58,334			73,898			75,960			
	地方債		0			0			0			
	その他特定財源		0			0			0			
	一般財源		117,803			116,253			119,653			
直接事業費（千円）A		176,137			190,151			195,613				
人件費（千円）B		3,564			3,564			3,564				
内訳	一般職員（人・千円）		0.54 人 3,564		0.54 人 3,564		0.54 人 3,564					
	臨時職員（人・千円）		人 0		人 0		人 0					
成果指標	成果指標名				単位	25年度		26年度	27年度			
						目標	実績	(目標)	(目標)			
	①											
	②											
③												
説明	本助成制度の該当者について、本制度への申請及び認定は概ね処理できていると考えます。また、本助成制度の利用についても基本的に助成対象者の体調が優れず病院等へかかることにより助成することになります。したがって、成果指標として本制度の利用率等について定めることはできないと考えます。また、本制度についての住民の満足度等について、成果指標を設定することも可能であるが、それにはアンケート等の方法により満足度等について調査する必要がありますが、現在当町ではそのようなアンケートを実施する計画はありません。よって、上記にとおり成果指標については設定困難であると考えます。											

事業名	医療給付事業	シート作成課	健康保険課
-----	--------	--------	-------

一次評価者	健康保険課長	二次評価者	生活福祉部長
-------	--------	-------	--------

評価項目の説明	チェック項目		一次の評価又は説明	
	一次	二次		
必要性	<input type="checkbox"/> 1. 事業開始時の目的を概ね達成するなど実施意義が低下している。 <input type="checkbox"/> 2. 社会情勢の変化など時の経過とともに事業開始時の目的が変化してきている。 <input type="checkbox"/> 3. 利用者、対象者の減少など住民ニーズの低下傾向がみられる。 <input type="checkbox"/> 4. 住民ニーズを上回るサービス提供となっている。 <input type="checkbox"/> 5. 国や他市町と比較するとサービスの対象や水準を見直す余地がある。 <input type="checkbox"/> 6. 国や県のサービスと重複している。 <input type="checkbox"/> 7. 民間のサービスと競合している。 <input type="checkbox"/> 8. 厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	三重県ではH24年9月診療分から対象者の拡大が実施されました。拡大範囲としては、小学校就学前までの子どもから小学6年生修了までの子どもとされ、当町においても同様に三重県の制度を利用しています。 また、子育て支援を拡充するため、中学3年生修了までの子どもについても、町単独で助成しており、三重県内の他市町と比較しても、上位のサービス提供ができていると考えます。	
有効性	<input type="checkbox"/> 1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。 <input type="checkbox"/> 2. 施策への貢献度が著しく高いとはいえない。 <input type="checkbox"/> 3. 施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。 <input type="checkbox"/> 4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	医療を必要とする機会が多い子どもが、無料で医療の提供を受けることができ、保護者の経済的負担、精神的負担を軽減できていると考えます。	
達成度	<input type="checkbox"/> 1. 事業開始時の目標設定に比べて進捗状況が劣っていると思う。 <input type="checkbox"/> 2. 事業開始時の目標に比べて成果があまり上がっていないと思う。 <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標を達成していると思う。 <input checked="" type="checkbox"/> 4. 十分に目標を達成していると思う。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	本助成制度の該当者について、概ね助成認定できていると考えます。また、平成21年度からは助成範囲の拡大も図り、より安心した子育て支援の提供ができていると考えます。	
効率性	<input type="checkbox"/> 1. 効果に比べてコストが高い（他市町や類似業務を行う民間に比べて）。 <input type="checkbox"/> 2. 現在の事業実施主体の他に効率的に事業を実施できる主体がある。 <input type="checkbox"/> 3. 他の実施主体のノウハウを活用できる。 <input type="checkbox"/> 4. 他の実施主体を活用しても公平性・公正性等が担保され、行政責任が問われない。 <input type="checkbox"/> 5. 事業実施している人員、手段等を見直しによりコスト削減の余地がある。 <input type="checkbox"/> 6. 電子化等の事務改善によりコスト削減の余地がある。 <input type="checkbox"/> 7. 契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	本助成制度の運営について、他の実施主体を活用することは不可能であり、町で実施すべき事業であると考えます。 また、助成方法にあたり、現物給付（窓口無料）を制度化することについては、三重県内統一の助成システムであるため、現時点で町単独での現物給付への移行は困難であると考えます。	

本事務事業の実施適切性の説明

本制度は、子育てで家族が安心して医療を受けられるという観点から有用な制度であると考え、平成21年度からは制度の拡大も行っていきます。
 また、法律などで義務付けられてはいないものの、公共性が極めて高く、民間（市民・企業等）ではサービスの提供が不可能であり、町が実施すべき事業であると考えます。

一次評価	評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	
		4	4	3	4	B	A
	今後の方針	休・廃止		見直し	継続	拡大	
今後の改革・改善目標	本制度を更に拡充するため、該当者の適用漏れがないよう関係部署と連携を図り確認を徹底します。 また、本事業を継続していくため、町財政負担の軽減が必要であると考え、従来より県補助対象範囲の拡大を働きかけてきたところですが、平成24年9月診療分から県補助対象範囲の拡大が実施されました。（H24.9診療分より、「就学前までの子ども」から「小学6年生修了までの子ども」に拡大） しかしながら、今後も持続可能な制度とするために、県補助対象範囲の拡大の働きかけを行っていくことが必要です。						

二次評価	評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	
		4	4	3	4	B	A
	今後の方針	休・廃止		見直し	継続	拡大	
コメント	制度の充実は基より、長期安定化を図るため、財源確保に向けた努力が必要である。						

二次評価に対する課の考え方							
---------------	--	--	--	--	--	--	--

参画協働の今後の方針	いつから	平成	年度から	1	現在の手段を継続する		
------------	------	----	------	---	------------	--	--